君津市総合計画のもと
毎年実施計画も作られます

令和4年度実施計画の**柱3**の
施策分野1子育ては、53事業が掲げられ
予算額もあり税金の使い道が分かります。

5つの柱ごとに具体的な事業が書かれています

柱1	経済と環境が調和したまち
柱2	誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち
柱3	安心して子育て・子育ちでき学びを楽しめるまち
柱4	快適で安心して暮らせるまち
柱5	ともに創る次世代につながるまち

No.	事業名	担当課	事業内容	予算額（千円）	総合戦略	強靭化
1	市民相談事業	市民活動支援課	法律相談・市民相談を実施し、様々な相談に対し適切な助言を行い市民の福祉の増進を図ります。また、結婚相談を行い、独身男女に出会いの場を提供する機会を設けます。加えて、社会生活が複雑多様化しているなかで、さまざまな悩みを持つ方々のために適切迅速な助言をします。	3,076	●	
2	特別児童扶養手当給付事務事業	障害福祉課	特別児童扶養手当の書類進達及び証書交付事務（法定受託事務）を行います。	70		
3	幼児ことばの相談事業	障害福祉課	ことばの相談：ことばの発達の遅れや難聴等の相談、調査、指導等を行います。発音、声の異常等の早期発見や指導を行います。 療育支援：成長や発達に係る相談、指導、機能訓練を行います。知的障害だけでなく学習障害、注意欠陥多動性障害等への支援を積極的に行います。	9,828	●	
4	子だから祝金給付事業	こども政策課	市民の第3子以上の出産を奨励祝福して子だから祝金を給付します。	1,747	●	
5	きみつ赤ちゃん応援パック事業	こども政策課	0歳児とその保護者の見守り・家庭支援のため、紙おむつ等の配送による声掛け訪問を行います。	10,273	●	

307万6千円

会員の感想

総合計画は行政の職員と市民向けだから分厚い？

総合計画の内容をもっと市民に知らせるべきでは？

総合計画の中には、「市民・地域・事業者等が取り組んでいくこと」として具体的な行動が書かれている
市民が自主的に思ったことというより市が決めたことで、違和感がある

まんべんなくやるのは無理なのでは？
限界集落化を防ぐ対策に力を入れて欲しい

柱１の「経済と環境の調和」は、本当にできるのか
６月にも企業からシアンなどの有害物質が小糸川に流出する事故があった

「君津市総合計画」は図書館で借りられます

市民の行動として、「公民館活動に積極的に参加するとともに…」とあるが、山間地域の高齢化にとっては、公民館に行くことも難しい。社会教育施設の再整備基本計画に有るように、住民の近くで事業を実施してほしい

行政マネジメントの中で行政サービスのデジタル化を便利と感じている市民の割合を「令和８年度５０％以上とする」とありますが、４年後に市民の半数以上が便利と思えるというのは目標として低いのではないかと思います

『君津の暮らしを考え隊』（問合せ先：Email kurashitai2022@yahoo.co.jp ↓）　Facebook ↓

当会は、暮らしの疑問を出発点に、君津市の財政状況について継続した学習と調査を通じて、君津市の実情を知り、市民が君津市と暮らしのこれからを考えられることを目的としています。
※知り隊ニュースのバックナンバーは市内８公民館にあります。

仲間を募集中

君津の暮らしを考え隊　2022.7

知り隊ニュース No.20

君津市の今[財政]を知り
君津市の未来[総合計画]
を考えよう

あなたが払っている税金はどう使われている？

「私たちの暮らしの今とこれからを考えよう」
～コロナ禍での君津市の財政を手がかりに～
令和4年3月30日、小糸公民館主催、君津の暮らしを考え隊企画の講座から。

会場とオンライン(Zoom)の参加者が
大塚先生の講義で君津市の財政を学び
グループに分かれて
感想などを話し合いました

参加者の感想

財政は市の家計簿だが、出てくる言葉は難しい

自分は豊かに暮らしていると思うが、君津市の財政は、厳しいんだとわかった

税金がどう使われているか関心無かったが、継続して学ぶことで分かってきた

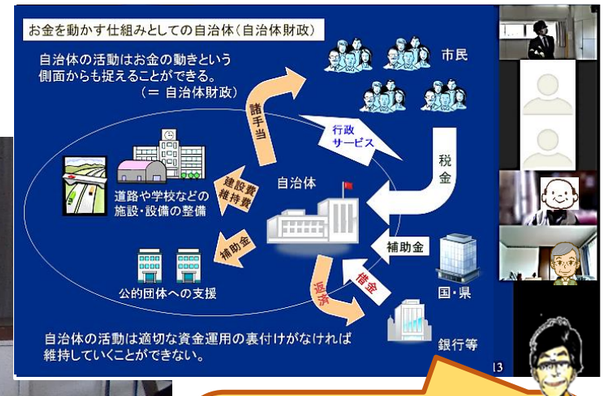
仕事にも関係するので、市のお金のことも学んでいきたい

自分の暮らしの不便なところが、市の財政のどこにつながっているのか知りたい

夫が感じていることと違う
帰ってから話してみたい

コロナ禍でのお金の使われ方を全然気にしていなかったが、今日のお話でわかった

コロナや台風の後始末が収まった後、どうなっていくんだろう

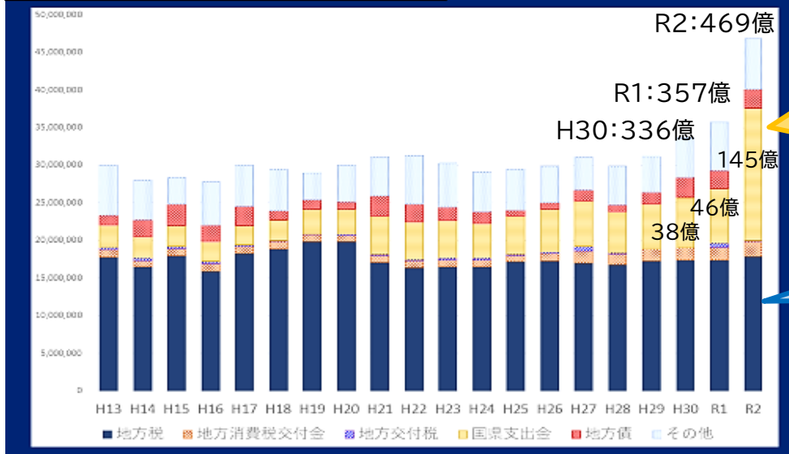


地方自治体の運営は
最少の経費で最大の効果を挙げ、
規模の適正化を図る（地方自治法）

少子高齢化・人口減少で近い将来、必要な資金を賄うことができなくなる。
地域社会の確立・維持を地方自治体に任せきりにすることはできない。
住民自らも積極的に関わるべきである

君津市一般会計令和２年度決算について（大塚先生の解説から抜粋）

1. 君津市における歳入の変化



R02年度に大幅に増加したのは、国からの補助金である。

国庫支出金（国の補助金）の増加で急増している
⇒その分、国が大きな借金を負っている

市税は、景気回復のためか減らずにすんでいる

財政力指数が「1」を超えている

“君津市は豊か？”

財政力指数を求める計算式の数値は、実際使っている金額ではない**「基準額」**
日本全国どこに住んでいても同じような行政サービスを受けるために予測される金額（人口、面積、学校数などが基準）

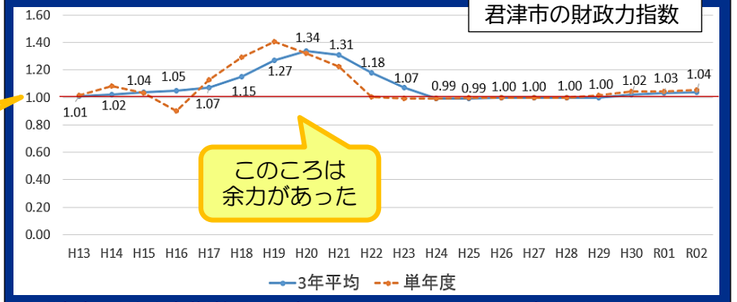
財政力指数がかろうじて「１」を超える状態は、国からの普通交付税が交付されず、自前の収入だけで運営するため財政上は厳しい状態である

2. 財政力指数

自治体の財政力を表す指標としては、財政力指数が用いられることが多い。

$$\text{財政力指数} = \frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}\ （\text{過去3年間の平均}）$$

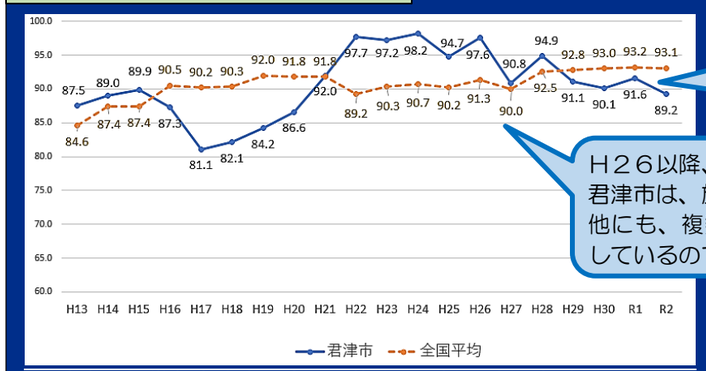
財政力指数が1を超えている場合には、国からの財政的な補填（地方交付税）はない（不交付団体）。1を下回っている場合には、需要額に対する収入額の不足分が補填される。



このころは余力があった

君津市の財政力指数は1を超えている。→ しかし、安心はできない！

3. 君津市の経常収支比率



経常収支比率 90%は
毎月の給料の 90%を生活費に使い、家の改築の余力は無い状態

Ｈ２６以降、下降しているのは
君津市は、施設の見直しが進んでいるため他にも、複数の部署で重複する事業を整理しているのでは？

君津市の経常収支比率は全国平均よりも低く、低下傾向にはある。

しかし、いまだ 90%近い水準にあり、値が小さいわけではない。
財政的には余裕がない状況が続いている。

財政力指数、経常収支比率については
知り隊ニュース**No.7** に
令和2年度の**総務費、民生費、衛生費、教育費**については、**No.19** に掲載

「君津市総合計画」（R4.4 策定）の気になるところ

★定例学習会（2022.5.9）での、大塚先生による「君津市総合計画」の気になる点から抜粋

1. 計画の構成と期間

未来のあるべき姿を皆さんで共有し、オール君津でまちづくりに取り組むための指針であり、君津市が定めるあらゆる計画の基本となる、まちづくりに関する最上位計画です。

計画の構成と期間

本市の総合計画は、将来ビジョンなどを定める「基本構想（9年間）」、将来ビジョンを実現するための施策等を定める「基本計画（前期5年、後期4年）」、施策等を推進するための事業計画である「実施計画（1年ごと）」の3層で構成しております。

年度		令和４(2022)	令和５(2023)	令和６(2024)	令和７(2025)	令和８(2026)	令和９(2027)	令和１０(2028)	令和１１(2029)	令和１２(2030)
総合計画	基本構想	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	基本計画	→	→	→	→	⇢	⇢	⇢	⇢	⇢
	実施計画	→	⇢	⇢	⇢	⇢	⇢	⇢	⇢	⇢

“こういうところにしたい”目標
夢を実現するための実施計画が必要

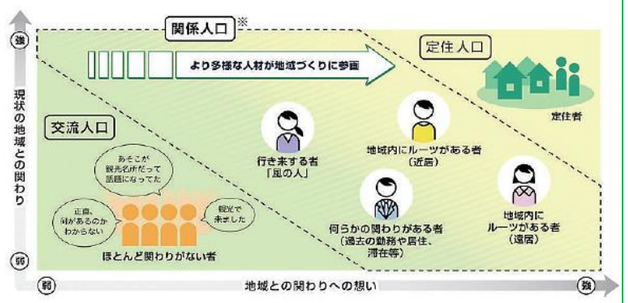
●明るい未来は必要だが、全てクリアしていく具体的な計画が必要
●歳入を増やすのは難しい。
⇒“歳出を減らす・見直す”夢描く計画に出しにくい
●歳入は維持し、歳出は減らしていかないといけない

2. 人口フレーム

令和12（2030）年の人口フレーム ▶ **77,000人**

国の資料に基く人口推計は、73,303人
8年後に実現できるのか

つながりの連鎖のイメージ



（出所）総務省ホームページ

※「関係人口」とは、移住やもともと住んでいる「定住人口」ではなく、買い物や観光等で来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことを指します。

3. 公共施設マネジメント

5-4 公共施設マネジメント

Ⅰ 概 要

公共施設の「質」・「量」・「財政負担」の最適化により需要と供給が見合った持続可能な公共施設等の管理を目指します

2 指 標

①公共施設総量（平成２７年度）の削減
現状値 △8,006.92㎡（平成２８年度～令和２年度）
目標値 △17,164.20㎡（令和３年度～令和８年度）

面積削減において学校の占める割合は大きい
“満足度を上げる”ことと両立させて6年間でやる
数値だけの目標は心配
つじつま合わせで必要とされる施設も削減されないか

4. 行財政マネジメント

5-6 行財政マネジメント

Ⅰ 概 要

多様化・複雑化する地域課題に対応していくため、財源の確保や行政改革の推進により時代の変化を的確に捉えた持続可能な行財政運営を行います。

2 指 標

①経常収支比率
現状値 89.2%（令和２年度）
目標値 89.2%（令和８年度）
②行政サービスのデジタル化を便利と感じている市民の割合（市民アンケート）
現状値 新規
目標値 50.0% 以上（令和８年度）

①かなり高い水準
目標以上の捻出をしないと道路・橋の実現が難しい
②6年間で急いでやっていく
政策として明るいもの描く⇒みんなでやっていく
実現するための裏づけが必要